

美杉地域伊勢地地区への 巡回診療を開始



津市国民健康保険竹原診療所



伊勢地地域住民センター

平成27年5月1日

巡回診療場所について



津市国民健康
保険竹原診療所

津市国民健康保険
竹原診療所から
伊勢地地域住民
センターへ巡回診療

伊勢地地域住民センター

これまでの経緯

平成26年6月末で伊勢地診療所(開設者 菊山靖子医師)が閉所

伊勢地地区における医療の確保について、地域住民からの強い要望

地域医療推進室において、三重県及び久居一志地区医師会等の関係機関と伊勢地地区における医療の確保について協議するも難航

三重大学医学部及び県立一志病院に対し、医師の派遣について依頼

平成27年2月末に医師の確保の目途がたったことから、伊勢地地区における早期の診療開始に向け関係機関と協議

伊勢地地区における巡回診療の概要①

診療開始日

平成27年5月13日(水曜日)

診療形態

津市国民健康保険竹原診療所からの巡回診療

診察日時

**毎週水曜日 13時30分から15時30分まで
(祝・休日については休診)**

診察場所

伊勢地地域住民センター(美杉町石名原1681番地)

診療科目

内科・外科・小児科・心療内科

伊勢地地区における巡回診療の概要②

伊勢地地区における医療の確保は、地域住民のために一刻も早く開始することが望まれることから、協議の整った平成27年5月から開始

津市国民健康保険竹原診療所の巡回診療として実施することから、津市国民健康保険事業特別会計(直診勘定)の既決予算で先行して対応

診療開始後における必要となる予算については、平成27年度第2回津市議会定例会において、6月補正予算として計上し、議決後、平成27年7月以降の診療を継続

平成27年7月1日受付開始

木造住宅除却補助制度を創設

～耐震化率の向上・危険空家の除却に向けて～

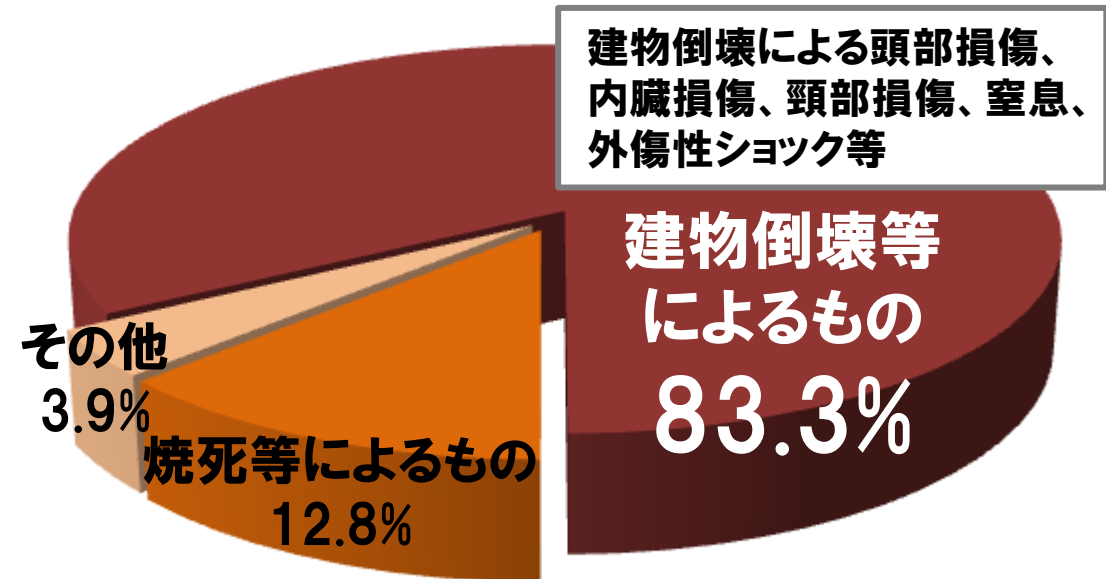


平成27年5月1日

阪神・淡路大震災による被害状況から

被害状況

- ❗ 亡くなられた人の約83.3%が倒壊した住宅等による圧死
- ❗ 避難路を倒壊した建物が閉塞する被害が多数発生



今後、いつ発生するかも知れない大地震に備えて！

津市の取り組み

平成20年度に「津市耐震改修促進計画」を策定し、住宅の耐震化を推進

- 建物の倒壊を抑止するためには、耐震診断を行い、その結果に基づいた耐震補強工事等が有効
- 避難路確保の観点からも耐震化の促進が必要

住宅の耐震化の目標及び現状

目標

津市耐震改修促進計画における
住宅の耐震化率の目標値

平成27年度末目標

耐震化率 **90%**

現状

耐震化率 **86.7%** (平成25年度末時点)

平成20年度住宅・土地統計調査の結果を基に算出した推計

①リーマンショック

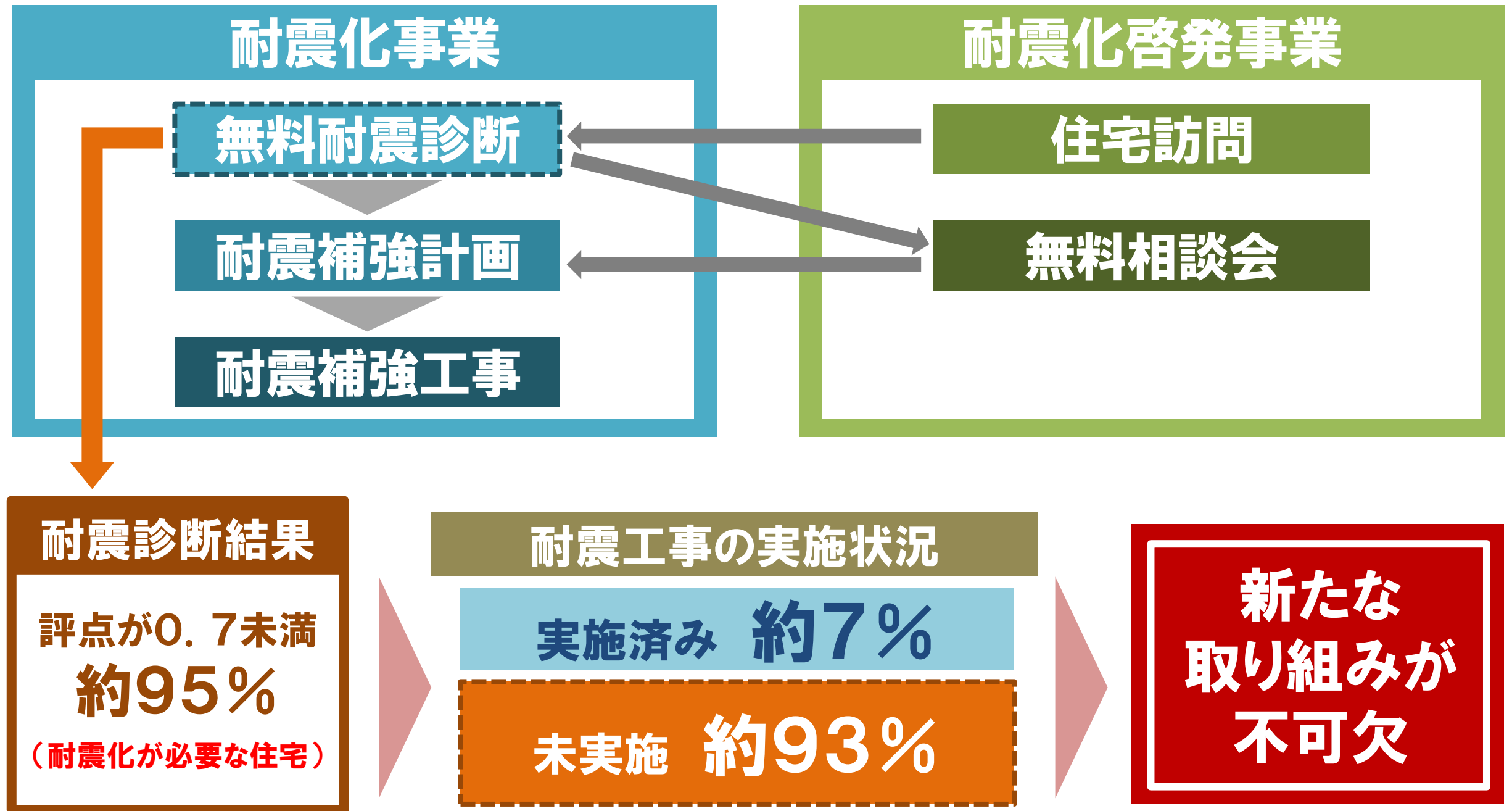
②耐震化に対する
意識の低下

耐震化
の停滞

耐震性がない住宅約15,000戸
(うち耐震化未実施の木造戸建て
住宅約14,000戸)

平成27年度末の耐震化率目標値
に向けて耐震化が必要な戸数
3,000戸(1,500戸/年)

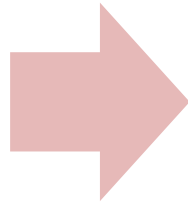
これまでの取り組み



新たな取り組み

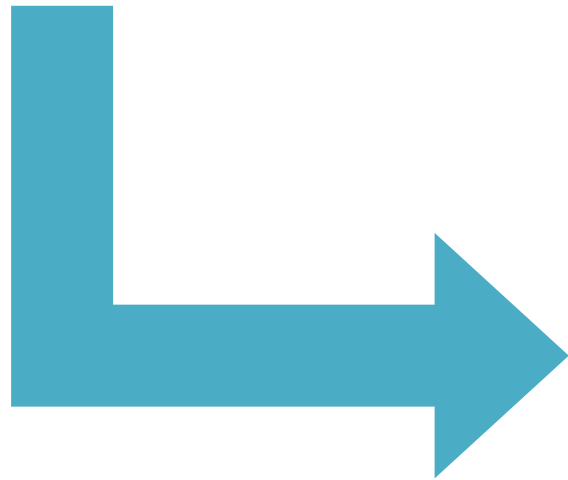
倒壊の恐れがある住宅

- ・耐震診断評点0.7未満
- ・老朽危険建物



これまでの取り組み

耐震補強補助事業など



新たな取り組み

木造住宅除却補助事業

- ▶ 旧耐震基準の木造住宅の除却
- ▶ 建て替えが進むことによる耐震化率の向上

木造住宅除却補助事業の概要①

目 的

本市においては現在、無料木造住宅耐震診断事業、耐震補強計画補助事業、耐震補強工事補助事業を行い、住宅の耐震化率向上のための施策を推進しているが、さらなる耐震化率の向上に向けて、旧耐震基準の木造住宅の除却、建て替えを進めるため、除却補助事業を実施

事業費

2,100万円（平成27年度当初予算）
※国の予算範囲内で調整中

副次的効果

危険な空家の除却を推進

木造住宅除却補助事業の概要②

対 象

本市の区域内に補助対象住宅を所有する人

募集方法

対象建築物①

昭和56年5月31日以前に建築(着工)した建築物のうち、耐震診断で評点が0.7未満のもの

受付…平成27年7月1日～8月7日、抽選…8月中旬

対象建築物②

昭和56年5月31日以前に建築(着工)した建築物のうち、市長が特に除却を必要と認める老朽危険木造住宅

※平成27年7月1日から随時相談受付を開始

補助内容

最高30万円(対象住宅の除却に要する費用の3分の2)

受付窓口

都市計画部建築指導課(電話059-229-3187)